

MCPC TR-005 Ver.1.0
Power Save Mode (HFP/HSP)

テクニカルリファレンス

2005年6月21日

変更履歴

| Version | 変更内容 | 変更日 | 変更者 |
|---------|-------------------|------------|----------|
| Draft | 発行 | 2005年4月8日 | ソニーエリクソン |
| V 0.5 | Tsniff の値追加 (1 秒) | 2005年5月17日 | ソニーエリクソン |
| V 1.0 | V 1.0 として正式リリース | 2005年6月21日 | ソニーエリクソン |

目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. はじめに | 4 |
| 2. パワーセーブモード | 4 |
| 2.1 スニフモード | 4 |
| 2.1.1 スニフモード開始 | 4 |
| 2.1.2 スニフモード受理 | 4 |
| 2.1.3 HSPのスニフモード失敗 | 4 |
| 2.1.4 HFPのスニフモード失敗 | 4 |
| 2.1.5 スニフパラメータ | 5 |
| 参画メンバー | 6 |

1. はじめに

本書は、Bluetooth が規定しているヘッドセットプロファイルおよびハンズフリープロファイル使用時の低消費電力モードの注意点について規定している。本書ではスニフモードについてのみ言及し、ホールドモード、パークステートについては言及していない。

2. パワーセーブモード

2.1 スニフモード

携帯電話はできるだけ多くのリンクでスニフモードをサポートすること。Service Level Connection の状態にあるリンクのみが、スニフモードに設定可能であること。同じリンクで複数の Service Level Connection があれば、携帯電話はすべての Service Level Connection に対してスニフモードを要求して受理されることを確認すること。

2.1.1 スニフモード開始

スニフモードは、携帯電話のアプリケーションによって開始されること。

Service Level Connection のリンク全てをスニフモードに設定できること。携帯電話とハンズフリーデバイス(以下、CHF)双方がスニフモード開始可能であること。終話時、またはある一定期間コードレスハンズフリー(以下 CHF と略す)で通話が継続したとき、あるいはまた音声携帯電話に移管されたとき、携帯電話はスニフタイマーを起動すること。スニフタイマーがタイムアウトしたら、(CHF がスニフモードを開始していないならば)携帯電話は ACL リンクでスニフモード開始を試みる。イベント終了直後、直ちにスニフモードを開始することは続けてイベントが発生したときに反応速度が遅くなることを考慮し、携帯電話のスニフモードタイマーのタイムアウト値は、ひとつの目安として 5 秒から 10 秒の範囲とする。

2.1.2 スニフモード受理

携帯電話は、(スニフモードに入っても問題がなければ)CHF が Sniff Request を要求した場合はその要求を受け付けること。

2.1.3 HSP のスニフモード失敗

HSP で音声の SCO リンク接続がないとき、ACL リンクがスニフモードに入れない場合は、その ACL リンクは解放されること。ただし ACL リンクがスニフモードに入れない場合でも、SCO リンクが確立されている状態では、ACL リンクを解放してはならない。

2.1.4 HFP のスニフモード失敗

HFP の Service Level Connection においては、ACL リンクがスニフモードに入れなくて

も、携帯電話はそのリンクを解放してはならない。

{HFP では切断はユーザ主導によってのみ行われるべきである。終話の度に毎回自動的に HFP の Service Level Connection が切断されると、カーキットでは使い勝手を損なうため。}

2.1.5 スニフパラメータ

スニフモードを開始するとき、以下のパラメータを使うものとする。

- Tsniff : SCO なし時 1.28 秒もしくは 1 秒 (1.28 秒を推奨するが 1 秒でも可)
SCO あり時 0.64 秒
- Nsniff_attempts : 4
- Nsniff_timeout : 0

参画メンバー

| | |
|-------|------------------------------|
| 浅井信樹 | アルパイン株式会社 |
| 田中亨 | 株式会社 NTT ドコモ |
| 覚野浩介 | 株式会社 NTT ドコモ |
| 三浦雅司 | 株式会社デンソー |
| 松谷寛 | 株式会社東芝 |
| 永濱健太郎 | 株式会社東芝 |
| 江島信昭 | 株式会社日立製作所 |
| 鈴木誠一 | クラリオン株式会社 |
| 佐藤健 | KDDI 株式会社 |
| 金子春彦 | ソニー株式会社 |
| 安田光義 | ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社 |
| 加藤博史 | 太陽誘電株式会社 |
| 山崎真一 | パイオニア株式会社 |
| 小西昭男 | 富士通株式会社/富士通デバイス株式会社 |
| 高橋伸久 | 富士通株式会社/富士通デバイス株式会社 |
| 中島雅彦 | 富士通株式会社/富士通デバイス株式会社 |
| 蔭山弘 | ボーダフォン株式会社 |
| 西川秀一 | 三菱電機株式会社 |
| 森本裕之 | 三菱電機株式会社 |

MCPC TR-005 Ver.1.0

Bluetooth Power Save Mode (HFP/HSP)

Technical Reference

平成 17年 6月 21日

発行元: モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 芝公園真田ビル

本書の一部または全部を無断で複製(コピー)することは著作権及び出版者の権利侵害となります。本書からの転載は原則禁止です。他の書籍等に転載する場合はモバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)の許可を必ず得てください。